

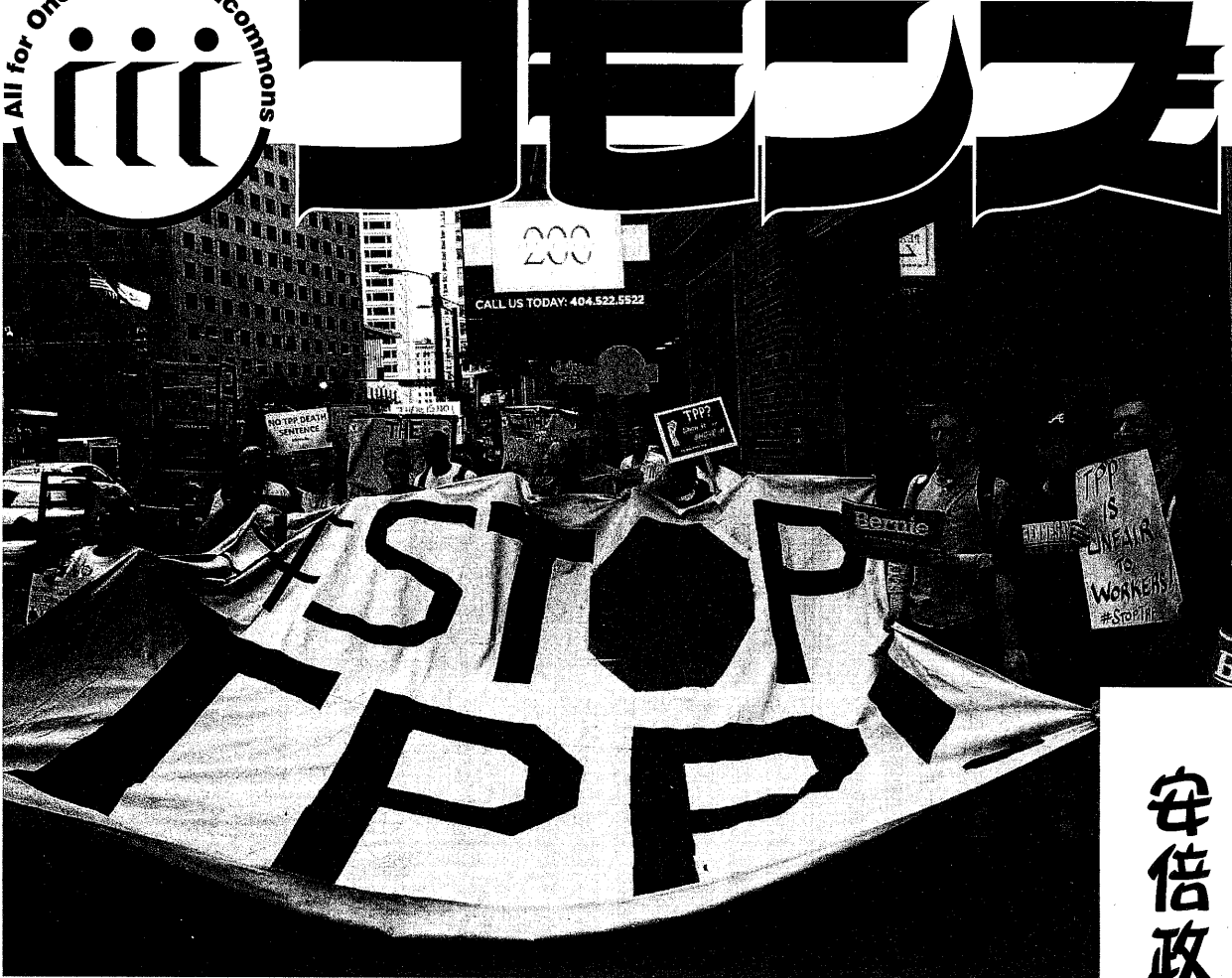


コモンズとは...労働者農民市民が協働して、国家と私を超えた自治と生産の共同の場を、共に作り合うこと

# Commons

■発行所/コモンズ  
 ■編集機関紙局/東京都中野区新井2-7-12-25号  
 コモンズ政策研究機構内  
 ■電話:03-3389-0411 Fax:03-3389-8573  
 ■編集/革命21  
 ■The Communist Association for Revolution Movement 21  
 ■本部/大阪市西区川口2-4-2 協働センター内  
 ■電話:06-6582-6556

■郵送料/1部500円、半年2500円(一年5000円)  
 ■郵便振替口座/00100-5-391171(コモンズ政策研究機構)



## トランプ大統領の登場で

# 死に体になったTPP!

## 日米2国間交渉に移行か



トランプ次期米大統領のTPP離脱宣言によって安倍の目論みは破産した

次期米大統領に選ばれたトランプ氏は、公約通り、2017年1月20日の大統領就任初日に「TPP(環太平洋経済連携協定)の離脱を表明する」と言明した。TPPの発効は参加12カ国間の取り決めで、12カ国のGDP(国内総生産)の総計の85%以上を占める6カ国が手続を終えなければ前に進めないことになっているので、米国の離脱すればTPPは成り立たないことになる。(米国は12カ国GDPの60.4%を占める)

このことが何を意味するのか、これからどういった道筋をたどるのかを考え直してみた。

(大野和興)

## 安倍政権は

TPP交渉を米国と共にリードしてきたという自負がある安倍政権は何が何でもトランプ氏を説得してTPPを発効させると肩をそびやかしている。すでに破綻している安倍政権の成長戦略アベノミクスの最後に残された切り札がTPPであった。もうひとつ重大な問題がある。後述する中国をどう扱うかという問題。

TPPに反対するオバマと安倍は、この一点で結びついた。安倍首相がTPPをあきらめきれない理由はここにある。だが、安倍首相のこの方針を担保する根拠はどこにもない。TPPはトランプの出現でほぼ死に体になった。

## トランプ政権は

それに対してトランプ氏はTPPを単なる経済的利権拡大のための取り引きとしてしか見ていない。オ

バマ政権や安倍政権とは土俵が基本的に違うのだ。経済的利権拡大という点で考えればTPPのような

安倍政権がTPPを重視してきた理由もそこにある。米大統領選でクリントン候補と並んで民主党の大統領候補の地位を争ったバーニー・サンダースは一貫してTPPに反対の立場をうらめしている。彼はTPPについてのインタビューの質問に対し、「米国の企業界は実質的に貿易で負けることはありませぬ」とした上で、オバマ大統領がTPPにこだわる理由について次のように述べている

「世界」12月号、インタビュー「サンダースが展望するアメリカの未来」(スティーブ・コリンズ著)を参照。

「彼はこれを地政学的な問題と見ています。過去の大統領のように、TPPがアメリカにありとあらゆる雇用を創りだすなど偽ることはしません。彼の論拠はむしろTPPを放棄すればアジアを中国の影響下に置くことになるというものです」

TPPに関してオバマと安倍はこの一点で結びついた。安倍首相がTPPをあきらめきれない理由はここにある。だが、安倍首相のこの方針を担保する根拠はどこにもない。TPPはトランプの出現でほぼ死に体になった。

## 他の選択はないのか

安倍首相は、TPP交渉参加12カ国のうち、米国を除く11カ国はTPP推進を固まらせているという。だがこれも安倍首相の思い込みにすぎず、トランプ氏のTPP離脱の動きを受け、さまざまな道を模索し始めている。11月中旬、南米で開かれたAPEC(アジア太平洋経済協力会議)に出席した中国の習近平国家主席は早速TPPに参加しているペルー、チリの首脳と会い、TPP参加国を含むAPEC全域を網羅するFTAAP(アジア太平洋自由貿易圏)づくりに急いで一致、また両国は中国が主導するアジアインフラ銀行(AIIB)に参加する意向を表明した。またASEAN(東南アジア諸国連合)と日中韓、インド、オーストラリア、ニュージーランドで構成するRCEP(東アジア地域包括的経済連携)の軸足を移す構えを見せ始めている。

- 公正な審議と高裁辺野古判決破棄を！最高裁前キヤンドルアクション...2面
- 高江ヘリパッド建設強行を許さない！機動隊は暴力をやめろ！新宿デモ...2面
- 辺野古新基地建設・高江ヘリパッド建設の断念を求める関西集会大盛況...2面
- 100号記念特集:「コモンズ」紙全バックナンバー総目次...3面~6面
- 連載 現代に生きる植民地主義/投稿:ナチスの真似は止めよう...7面
- よむ:「世界」よりインタビュー「サンダースが展望するアメリカの未来」...8面
- 1月15日ソウル宣言の会・GSEFモントリオール大会報告集会のご案内...8面

## 今月号の主な内容

民主主義、人権を掲げる交易の仕組みづくりを提起し、運動をつくりあげる時期に来ている。

## 沖縄・辺野古埋立訴訟裁判キヤンドルアクション(2面に関連記事)

最高裁は中立・公正な審理を行え！  
 高裁判決を破棄しろ！  
 11・27 最高裁前に400人が結集



**緊急!!**  
 韓国 大統領弾劾を234対56で可決!! (報道と分析は次号に掲載)  
 百万民衆の街頭決起が政治の流れを変えた!

# 最高裁判前 キヤンペンドルアクション

11・20



基地は沖縄に必要ないと訴える伊波洋一さん

く踏みじり、司法の独立をかたがへり捨て「普天間基地の辺野古への移設が唯一の解決」という国の主張に全面的に追随する、まさに見るに及ばぬ判決と言わざるを得ない。同23日、翁長知事はこれを不服として最高裁判所に上訴した。そして、この上訴に連帯する多くの団体・個人の呼びかけ・賛同のもとに11月20日・21日の連続闘争が組まれた。

11月20日夕刻、最高裁判所西門前にて中立・公正な審理と高裁判決放棄を求め、また「辺野古新基地を造らせない」と訴える約1000人が結集した。最高裁判決放棄を求め、また「辺野古新基地を造らせない」と訴える約1000人が結集した。最高裁判決放棄を求め、また「辺野古新基地を造らせない」と訴える約1000人が結集した。

「辺野古新基地建設・高江ヘリパッド建設の断念を求める12・2関西集会」が、大阪市のエルおおさか南館5Fホールに、関西一円の活動家、運動に関心ある市民を含め約500名を集めて開催された。

同日考察による「米軍の極東アジア戦略」という敵側の現状と今後に関わる動きを詳細に説明するスクリーン提示の講演があった。続いて、映画監督・三上智恵さんから、緊迫する辺野古情勢をスクリーンした新しい映画「標的の島(仮題)」に寄せる思い。さらにMBSアナウンサーとして関西に長年在住した同氏から大阪府警隊員による「エ十八」発言とそれを擁護する大阪府知事松井、さらにヘイト感覚に乏しい関西地域マスメディアへの怒りが表明された。

9月16日、福岡高裁那覇支部(多見谷裁判長)は辺野古埋立承認への取消処分を違法だと国が訴えた裁判の判決を待たした。その判決内容は沖縄県の実情を全

対行動中の山城博治(沖縄平和運動センター議長)を逮捕。29日には、その逮捕を口実に辺野古テントなど暴力を家宅捜索。弾圧のエンカレトは留まるところを知らない。やりたい放題の政府権力の弾圧は目を覚まらねばならぬ。果たしてこれで「法治国家」と言えるのか。「民主国家」と言えるのか!

「辺野古への基地建設を許さない実行委員会」によって開催された。「沖縄・一坪反戦地天主会関東ブロック」共同代表の大仲尊さんは、この間の弾圧のすさまじさを訴え、たたかいへの参加を呼びかけた。また沖縄現地のよりヘリ基地反対協議会の安次富雄さんが、電話を通じて現地の状況を伝えてきた。集会後、新宿駅周辺のコースをまわって沖縄弾圧への怒りを叩きつけるデモ行進が行われた。

冒頭、主催者挨拶として沖縄意見広告運動代表世話人の武建一全日建連帯労組関西地区生コン支部委員長が、現況の安倍内閣による沖縄意見広告運動代表世話人の武建一全日建連帯労組関西地区生コン支部委員長が、現況の安倍内閣による沖縄意見広告運動代表世話人の武建一全日建連帯労組関西地区生コン支部委員長が、現況の安倍内閣による

自公維 野党反対押し切り会期延長  
年金カット法案強行  
11月29日

## 11・27 高江でのヘリパッド建設強行を許さない! 機動隊は暴力を止めろ! 安倍政権は辺野古新基地建設を断念しろ!

### 新宿デモ

「辺野古への基地建設を許さない実行委員会」によって開催された。

「辺野古への基地建設を許さない実行委員会」によって開催された。

「辺野古への基地建設を許さない実行委員会」によって開催された。

自公維 野党反対押し切り会期延長  
年金カット法案強行  
11月29日

沖縄・高江のヘリパッド建設は地元民の反対を押し切られて強行されている。本土警察機動隊による住民への弾圧はさらさらとエンカレトするばかりでなく、沖縄県民を「エ十八」シナメなどと罵り、報道カメラマンの取材妨害までおこなう始末だ。

11月27日新報アルタ前において、この機動隊の理不尽な弾圧に抗議する集会が開かれた。

11月27日新報アルタ前において、この機動隊の理不尽な弾圧に抗議する集会が開かれた。

11月27日新報アルタ前において、この機動隊の理不尽な弾圧に抗議する集会が開かれた。

自公維 野党反対押し切り会期延長  
年金カット法案強行  
11月29日



11月27日新報アルタ前において、この機動隊の理不尽な弾圧に抗議する集会が開かれた。

11月27日新報アルタ前において、この機動隊の理不尽な弾圧に抗議する集会が開かれた。

11月27日新報アルタ前において、この機動隊の理不尽な弾圧に抗議する集会が開かれた。

自公維 野党反対押し切り会期延長  
年金カット法案強行  
11月29日

国内短信  
南スーダン派遣差し止めを求めて  
自衛官の母が国を提訴  
11月30日

70歳以上医療費負担増  
医療費は高額療養費制度により収入に応じて毎月自己負担額の上限が決められ、上限を超えた分は公的な医療保険などが負担するが、厚労省は年収370万円未満の約1200万人も対象

年金カット法案強行  
自公維 野党反対押し切り会期延長  
11月29日

国際短信  
速報! 安倍首相がハワイ真珠湾を訪問  
目的は日米軍事同盟の強化  
12月5日

12月5日のNHKニュースは、安倍首相が12月下旬にハワイを訪問し、真珠湾攻撃の犠牲者を慰霊すると報じた。しかし、もしも戦争に反対する悔悟を示すのであれば、真珠湾攻撃とは同時期に英国東洋艦隊に攻撃を受けた事実にも触れるべきであり、何よりも日米開戦の10年以上も前から中国を侵略し、1千万人以上もの犠牲者をおこなった事実について哀悼の誠を尽くすが、礼儀と云うものである。しかし、

沖繩記録映画 標的の島 (仮題) 制作応援のお願い

沖繩記録映画 標的の島 (仮題) 制作応援のお願い

2008年 6月10日創刊

100号の「道」

「もてこぼす」の世界への確かな眼差し

「コモンズ」は10月号をもって100号となりました。2008年6月創刊以来、一度の休刊も合併号も出さず、こまめに発行してまいりました。これも、一冊一冊、皆様の購読、ご協力のおかげです。ありがとうございます。

新たな準備へスタート

わたしたちは、「生きざせろ！」の叫びを挙げ始めた非正規の青年たち、「もてこぼす」に限らず、「生活不安を募らせる高齢者をはじめ、貧苦の只中にある労働者民衆の自己解放と社会変革を

変えよう！

日本を、世界を、

わたしたちを！

変えよう！



資本主義の、その次の未来へ

そこにおける時代精神の要として、資本主義を倒す主体を形成するかにあると考えます。

時代の求める「道」

これは、没落しつつあるアメリカの運命共同体として、軍事大国・戦争国家・貧困大国への道(9条改憲・安保再編を歩む日本においてこそ、急を要する課題です。

新しい解放組織の創造

なせなら、これまでの既成政党・政治組織は、多かれ少なかれ、上意下達の中

既成政党に代わるもの わたしたちは、労働者運動、大衆闘争の政治的発展のために闘い、あらゆる搾取と抑圧、貧困と格差の元凶である資本主義を根本から変革し、当面「日本列島に自治・共和・協同のもの」の日本の実現をもち

日本労働運動の戦術的再生に立脚し、労働者が自ら創り出すこの組織は、従来の「党」の持つイメージを払拭したものをめざします。

運動の新しい解放組織の創造 わたしたちは、「運動型新党の形成」に果敢に挑戦します。それは、「協同組合型社会(アン・エー・シオン)」の実現に向かう「21世紀社会主義革命(アン・エー・シオン)

この新しい組織は、「党」の目的化を拒否し、光放つ運動の渦を創り出すことにかかっており、その闘いの過程でこそ新たな絆、新たな組織原理も創りだされるものと考えます。わたしたちは、個々の運動が過去において生み出し現在も引きずっている排他性、分裂志向、不毛な党派闘争を自己目的化するような愚を克服し、多様な諸政治勢力の可能な限りの同権的協働を、互いの人間的・同志的信頼を尊重して共に闘いたいと願っています。

この新しい組織は、わたしたち一人一人がその生き方、働き方、暮らし方を「変える」ことを意味し、それが世界を変えていくことに通じます。

新たな「運動型新党」の創出に、ともに挑戦しよう！

2008年5月11日 「革命21」準備会

元凶たる資本主義を倒し、鮮明な理念で日本世直し「希望の未来へのヴィジョン」を掲げて闘う決定的な推進力は、未だ創り出されていません。

だからこそ、全国の闘う労働者民衆の拠り所として、資本主義と闘うことを諦めていない全ての人々の協働・連携へ、「推進力」の創設を、わたしたちは開始します。

無関心・無力感を捨てよう！

その時、わたしたちの前に、道は大きく開かれるのです。

わたしは呼びかけます

この新組織創出への準備過程は、それを望む全ての人々に開かれています。

わたしは、全ての人々一開かれた討議でラディカルな民主主義によって新しい革命プログラムを「憲章」として創出し、日本から東アジアへ、そしてもうひとつの世界」をめざす全世界の労働者民衆との国際的連帯を求める「新党」を「共に創る」ことを望む諸個人・グループ、政治的潮流一に呼びかけます。

とりわけ、出自や性別、男性を問わず、非正規の青年たち、労働組合活動家、農民組合活動家、地域の活動家、被差別民衆、全ての「コミュニティ」、社会主義者と呼びかけます。

志を高く、世の中を変えたいに、喜びと誇りをもってのぞもう！

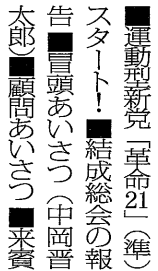
日本を変え、世界を変えよう！



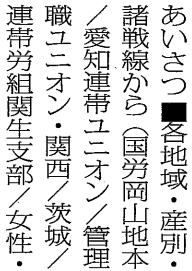
【2008年】



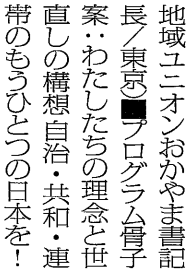
創刊号6月10日  
弾!稲垣さんをお釈放せよ  
ミキサー車キャラバン隊北海道へ! G8サミットは破産 焦点は洞爺湖ではなく民衆の対抗行動  
第3号9月1日



【2009年】  
第7号1月1日  
貧困と大失業の時代を迎え撃つ 新春対談 世界金融恐慌に立ち向かう労働運動の進路 変革へのオルタナティブ 新崎盛隆氏沖繩から世界大変化の中の日米安保を問う 関生訪韓報告 ケバブ生誕 80周年 キューバ革命50周年記念集会  
第8号2月1日



第9号3月1日  
春闘と連動し、全国各地で「派遣切り」のホットライン 開催 関生支部への権力弾圧を許すな! 日米安保廃棄の大運動を「ソマリヤ」声 反貧困世直しイッキ天



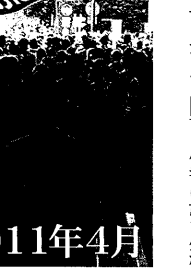
第10号4月1日  
春闘後半戦中小労働運動の前進を闘いとう 関生支部 管理職ユニオン、反貧困ネットワークの闘い 武委員長に聞く「独占資本の手に平に乗ったような運動はしない」 G8協定 批准を許すな! グローバル資本主義と農業・農民問題 (大野和典)  
第11号5月1日



第12号6月1日  
関生支部無期限ストライキの勝利! 沖繩基地問題と日米安保 朝鮮人工衛星問題への「破壊権発動命令」 G8・4・14協定可決糾弾! 9条阻止の会、ソマリヤ派兵抗議の座り込み  
第13号7月1日



第14号8月1日  
8月総選挙・自公政権打倒 政治を奪えよう! 稲垣委員長・関生支部に対する不正判決糾弾 7月1日関生支部弾圧・斉藤建材事件 高裁判決への弁護団声明 近畿生コン連帯協組連合会、セメント独占との新たな攻防! パナソニック総行動・愛知  
第15号9月1日



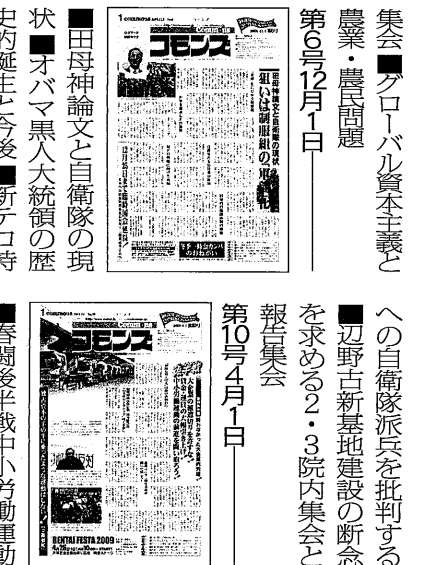
第16号10月1日  
世界金融恐慌の激進の下で 寒さに労働者を街頭に迷わすな 普天間即時閉鎖! 辺野古新基地断念を! 11・8集会決議全文 11・8沖繩現地集會に連帯し反基地集會(東京) 生コン連帯15団体が11・11政府要請行動  
第17号11月1日



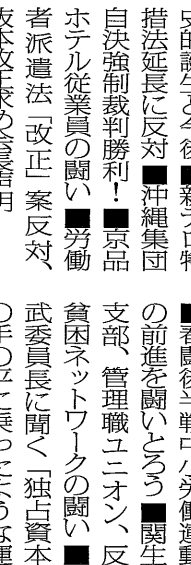
第18号12月1日  
10春闘勝利! 大幅賃金底上げを 沖繩県議会が普天間飛行場の早期閉鎖 返還を求める決議 派遣法の抜本改正をめざす共同行動 大阪 全国初! 在特会糾弾決議を採択 新連載・山内徳信国会奮闘記  
第19号1月1日



第20号2月1日  
か 変革のアノシエ発足記 念願シンポジウム 第20号2月1日



版記念シンポジウム 沖繩に基地はいらない! シュゴンの行進!  
第17号11月5日



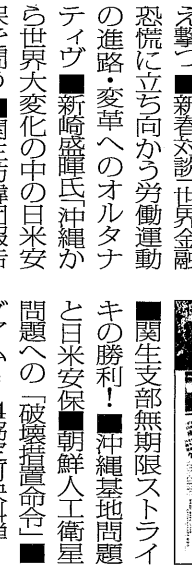
第18号12月1日  
10春闘勝利! 大幅賃金底上げを 沖繩県議会が普天間飛行場の早期閉鎖 返還を求める決議 派遣法の抜本改正をめざす共同行動 大阪 全国初! 在特会糾弾決議を採択 新連載・山内徳信国会奮闘記  
第19号1月1日



第20号2月1日  
か 変革のアノシエ発足記 念願シンポジウム 第20号2月1日



第21号3月1日  
菅内閣は日米共同声明を撤回せよ! 沖繩・緊急意見広告報告集會 特別決議 6・23沖繩 徳之島闘争連帯 安保破棄の政治スト決行!  
第22号4月1日



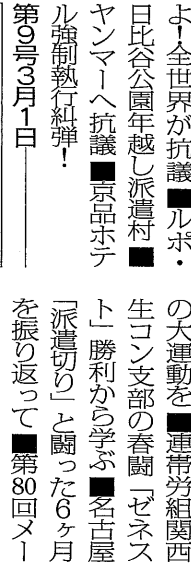
第23号5月1日  
関西生コン労働者スト! 意図的によ大詰め! この闘いを勝ち抜いていかんとぼくらの未来がない! 沖繩 意見広告運動第2期へスタート  
第24号6月1日



第25号7月1日  
7月参院選の沖繩離し 公約破棄の裏切り許すな 6・23安保破棄 沖繩連帯の政治ストライキ 生コン連帯10春闘建設独占に向けた2100名の決起  
第26号8月1日



第27号9月1日  
伊波洋一沖繩県知事の実現を! 伊波氏公約発表 5ヶ月目に入った生コン連帯ストライキ 派遣法抜本改正 いらぬ! APEC 10・16 反貧困世直し大集會 2010 第30号12月1日



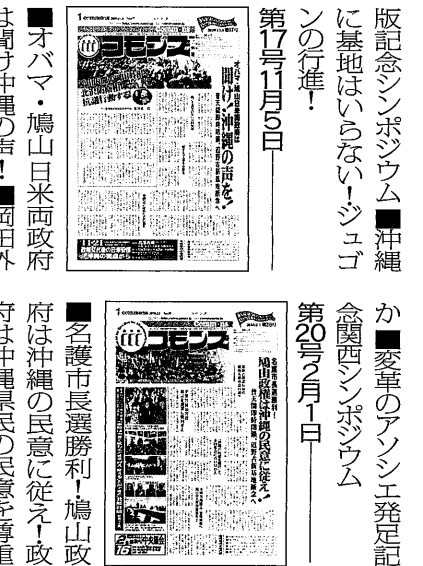
第28号10月1日  
2011春闘世界揺るがす 民衆革命に連動・連帯し闘う時だ! TPPでは生き残れない! 当たり前に生きていくムラでも、マチでも 朝鮮学校への「無償化」の即時適用を! 代々木公園に2千人 高江へパッド建設許すな! アフリカ・アラブ民衆革命のうねり  
第29号11月1日



第30号12月1日  
福島原発事故は日米原発独占組んだ国家犯罪 関西生コン支部 春闘賃上げ分を被災者へ全額カンパ 思いやり予算を断り認めるわけにはいかない! 服部良一



第31号1月1日  
私達は座して死を待つより立って闘ったとして完全勝利した(武委員長) 20



第21号3月1日  
菅内閣は日米共同声明を撤回せよ! 沖繩・緊急意見広告報告集會 特別決議 6・23沖繩 徳之島闘争連帯 安保破棄の政治スト決行!  
第22号4月1日



第23号5月1日  
関西生コン労働者スト! 意図的によ大詰め! この闘いを勝ち抜いていかんとぼくらの未来がない! 沖繩 意見広告運動第2期へスタート  
第24号6月1日



第25号7月1日  
7月参院選の沖繩離し 公約破棄の裏切り許すな 6・23安保破棄 沖繩連帯の政治ストライキ 生コン連帯10春闘建設独占に向けた2100名の決起  
第26号8月1日



第27号9月1日  
伊波洋一沖繩県知事の実現を! 伊波氏公約発表 5ヶ月目に入った生コン連帯ストライキ 派遣法抜本改正 いらぬ! APEC 10・16 反貧困世直し大集會 2010 第30号12月1日



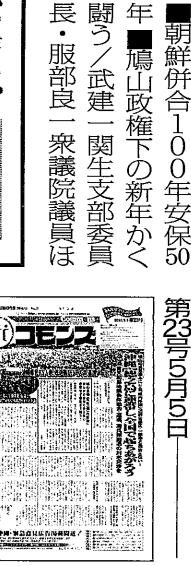
第28号10月1日  
2011春闘世界揺るがす 民衆革命に連動・連帯し闘う時だ! TPPでは生き残れない! 当たり前に生きていくムラでも、マチでも 朝鮮学校への「無償化」の即時適用を! 代々木公園に2千人 高江へパッド建設許すな! アフリカ・アラブ民衆革命のうねり  
第29号11月1日



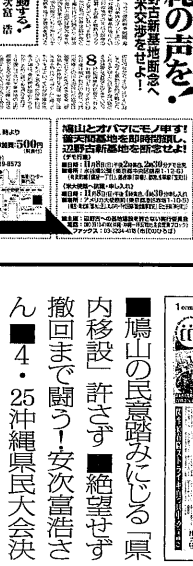
第30号12月1日  
福島原発事故は日米原発独占組んだ国家犯罪 関西生コン支部 春闘賃上げ分を被災者へ全額カンパ 思いやり予算を断り認めるわけにはいかない! 服部良一



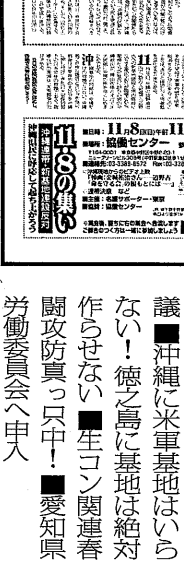
第31号1月1日  
私達は座して死を待つより立って闘ったとして完全勝利した(武委員長) 20



第32号2月1日  
10春闘5ヶ月の大ストライキ 関生・闘争の現場から(座談会) 11月国際労働者シンポジウム「反資本主義 左翼」への挑戦  
第33号3月1日



第34号4月1日  
福島原発事故は日米原発独占組んだ国家犯罪 関西生コン支部 春闘賃上げ分を被災者へ全額カンパ 思いやり予算を断り認めるわけにはいかない! 服部良一



第35号5月1日  
菅内閣は日米共同声明を撤回せよ! 沖繩・緊急意見広告報告集會 特別決議 6・23沖繩 徳之島闘争連帯 安保破棄の政治スト決行!  
第36号6月1日

号外 Commons 2012.4.11  
大原俊典の再稼働へ野田政権が今週中に政治判断 4月17日正午12時より経産省前で記者会見 再稼働許さない集団ハンス突入!  
4月9日開電工程表受け「安全性確認」と表明  
ハンススト宣言  
4月25日夜、日比谷野音へTPP反対、再稼働反対の抗議行動  
大原俊典の再稼働許さない集団ハンス突入!



2011年5月～2014年1月



第35号5月1日

■大震災下のメーデー「困難」の時だからこそ、われわれは起って闘う！米軍への「思いやり予算」を被災地復興支援に回せ！米軍への「思いやり予算」を被災地復興支援に回せ！米軍への「思いやり予算」を被災地復興支援に回せ！



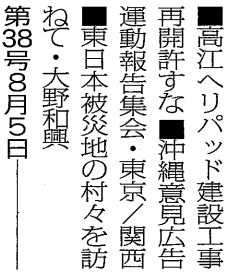
第36号6月1日

■沖繩と「フクシマ」を結び日米安保による国策の誤りを糾す時 関西生コン支部13名の逮捕・全員起訴の暴挙糾弾 福島の親たちが抗議 15平和行進3000人以上が参加/反原発自治体議員・市民連署発足



第37号7月10日

■菅大岡米軍基地即時閉鎖・返還を 6・11脱原発百万人アクションに6万7千人 6・26福島1万人ハンカチパレード/川柳デモ注目



第38号8月5日

■高江ヘリパッド建設工事再開許すな 沖繩意見広告運動報告集発 東京/関西 東日本被災地の村々を訪ねて・大野和興



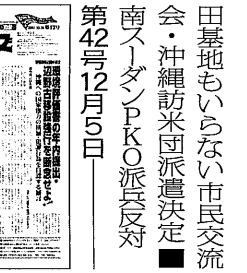
第39号9月10日

■野田政権原発再稼働・増税と日米同盟推進の保守政権 意見広告NYタイムズに決定/菅天間の辺野古移設を許すな 仙石シンポジウム 三陸町復興祭に方士も参加/TPPが農家の崩壊を加速する(大野和興)



第40号10月5日

■9・19さきなら原発100万人アクション/明治公園に6万人 若者たちが経産省前でハンガーストライキ 橋下ハシムト独裁政府反対!!



第41号11月5日

■米NYタイムズへ沖繩意見広告掲載 福島のお母さんたちが国連前で訴え



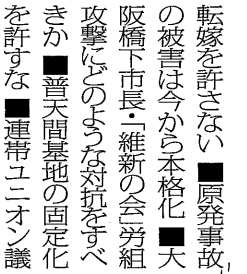
第42号12月5日

■田基地もいらぬ市民交流会 沖繩訪米団派遣決定 南スーダンPKO派兵反対



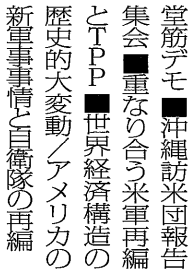
【2012年】第43号1月1日

■環境評価書の年内提出/辺野古建設強行断念せよ 経産省前デモのつぼを護ろう 沖繩意見広告運動報告集発



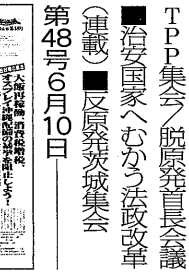
第44号2月10日

■革命21結成宣言発表せよ 日本を世界をわたしたちを 新崎盛暉さん講演「東日本大震災と日米中そして沖繩」 新年座談会「さきよ日本」 主体と構想を語る



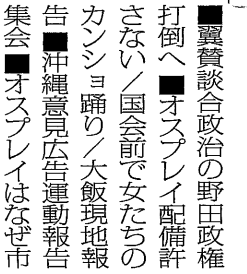
第45号3月10日

■21発足総会報告その2



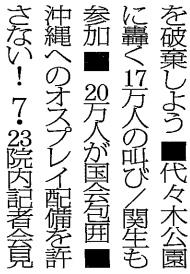
第46号4月10日

■翼賛談合政治の野田政権の被害は今から本格化 大阪橋下市長・維新の会労組攻撃にどのような対抗をすべきか 菅大岡米軍基地の固定化を許すな 連帯ユニオン議員ネットの15日大会報告



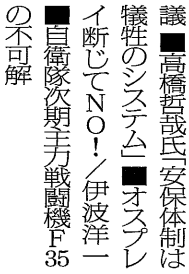
第47号5月10日

■福島の女たち、リレーハンストに決起 3・11東京大行進/福島集会/春闘御堂筋デモ 沖繩訪米団報告集発 重なり合う米軍再編とTPP 世界経済構造の歴史的大変動/アメリカの新軍事事情と自衛隊の再編



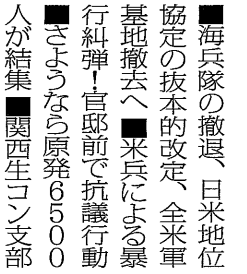
第48号6月10日

■5月5日すべての原発が止まった！再稼働阻止し廃炉へ！ガッテンナラン4・20沖繩集会 脱原発リレーハンスト報告/4・25反TPP集会/脱原発首長会議 治安国家へむかう法政改革(連載) 反原発茨城集会



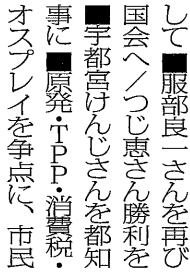
第49号7月10日

■大飯再稼働、消費税増税 オスプレイ配備の暴挙を阻止しよう 原発いらぬ福島の人たちのダイイン&ゼリ込み 杉並脱原発宣言/さきなら原発100万人署名集会ほか 5・25ヤスクニキヤンドル行動



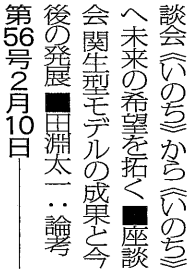
第50号8月10日

■海兵隊の撤退 日米地位協定の抜本的改定、全米軍基地撤去へ 米兵による暴行糾弾！官邸前で抗議行動 さきよなら原発6500人が結集 関西生コン支部 定期大会1200人 会員賛助会員獲得



第51号9月10日

■野田首相に問責可決 9・9沖繩県民大会へ呼び出し国会包囲記者会見 米海兵隊員による女性への性暴力事件に抗議 高橋哲哉氏 安保体制は犠牲のシステム オスプレイ断じてNO！伊波洋一 自衛隊次期主力戦闘機F35の不可解



第52号10月10日

■オスプレイ配備阻止 沖繩県民10万人が結集 9・9国会包囲1万人行動 9・9大阪ほか フジ製版偽装倒産 許すな！ 重慶爆撃連続講座/福島原発訴訟全国集会



第53号11月10日

■匿名の沖繩一揆：復帰後初144名の大直訴団！



【2013年】第54号12月10日

■誰もが人らしく生きられる共生・協同の社会をめざす 服部良一さんを再び国会へ/つじ恵さん勝利を祝う 20万人が国会包囲 沖繩へのオスプレイ配備を許さない！ 7・23院内記者会見 関西生コン支部 闘争



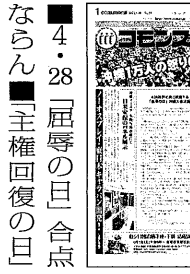
【2013年】第55号1月1日

■安倍極右政権の戦争国家への中央突破許さない 座談会「いのち」から「いのち」へ未来の希望を拓く 座談会 関生型モデルの成果と今後の発展 田淵太一：論考



第56号2月10日

■TPPとは一体何か？安倍政府が辺野古埋め立て申請 関西生コン春闘勝利/オスプレイ反対全国キャラバン 山城勝手連・東日本 結成総会へ/ユニオン春闘



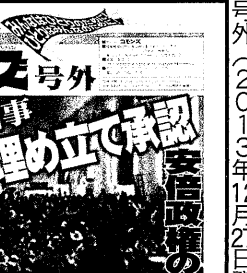
第57号3月10日

■オスプレイ四国・紀伊半島で飛行訓練開始 TPP交渉参加法断は許されない 西日本キャラバン出発 オスプレイ配備拒否 大和集会 連帯若狭生コン支部2013春闘 大内秀明「アベノクライシスの危機論」講演会



第58号4月10日

■TPPとは一体何か？安倍政府が辺野古埋め立て申請 関西生コン春闘勝利/オスプレイ反対全国キャラバン 山城勝手連・東日本 結成総会へ/ユニオン春闘



第59号5月10日

■誰もが人らしく生きられる共生・協同の社会をめざす 服部良一さんを再び国会へ/つじ恵さん勝利を祝う 20万人が国会包囲 沖繩へのオスプレイ配備を許さない！ 7・23院内記者会見 関西生コン支部 闘争



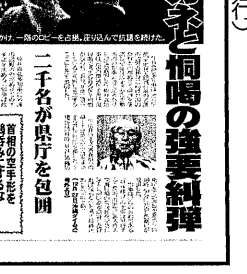
第60号6月10日

■6・15基地もオスプレイもいらぬ！日米安保廃棄へ！ 6・25さきよなら原発集会/脱原発デモを考える講演会 意見広告運動報告/オスプレイ訓練反対 全国キャラバン 山城博治さんが出馬表明！各地に拡がる勝手連



第61号7月10日

■安倍自民・右派勢力の9条改憲 戦争国家への参院制覇を許すな 山城博治さん公示日の第一声/誰かできる選挙運動 大内秀明：混迷するアベノミクスの「成長戦略」



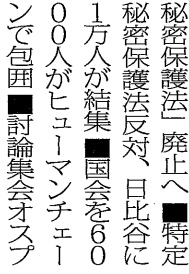
第62号8月10日

■7月参院選大勝利おこる 安倍政権に反撃を！ 山城博治さん残念！ 東京、大阪、千葉各地の闘い 大内秀明「廃炉がだんだん遠くなる」 湖東生コン協会の闘い/オスプレイ配備強行を許すな 書評：前泊博盛「日米地位協定入門」



第63号9月10日

■山場迎えた反TPP闘争 橋下市政を検証する 8・27市民集会 9・15さきよなら原発講演会/怒りのヒューマンチェーン オスプレイ 帰れ！山城勝手連東日本報告会 アベノミクスの「第3の矢」日米地位協定入門



第64号10月10日

■消費税8% 大企業に減税！ テントひろは2周年、撤去裁判/反TPP集会 第30回連帯若狭近畿地方本部定期大会 山城博治さん激励会



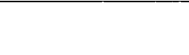
第65号11月10日

■怒りをたぎらせ 民衆の力を結集し 安倍政権打倒へ！ 沖繩と結ぶ日米安保廃棄！ 東アジアの平和と民衆自治の道へ 名護市長選 稲嶺ススム再選勝利を！ 那覇市議会が辺野古移設強硬に抗議の意見書全会一致で採択



【2014年】第66号12月10日

■参院強行採決糾弾 特定秘密保護法 廃止へ 特定秘密保護法反対、日比谷に1万人が結集 国会を6000人がヒューマンチェーンで包囲 討論会オスプレイNO 辺野古の埋め立て許さない



【2014年】第67号1月1日

■怒りをたぎらせ 民衆の力を結集し 安倍政権打倒へ！ 沖繩と結ぶ日米安保廃棄！ 東アジアの平和と民衆自治の道へ 名護市長選 稲嶺ススム再選勝利を！ 那覇市議会が辺野古移設強硬に抗議の意見書全会一致で採択

戦争への道を開く 秘密保護法成立強行！

安倍内閣の公権の暴挙糾弾 憲法を擁護する市民の闘い

安倍内閣の公権の暴挙糾弾 憲法を擁護する市民の闘い

秘密保護法成立強行！

安倍内閣の公権の暴挙糾弾 憲法を擁護する市民の闘い

秘密保護法成立強行！



2014年2月～2016年10月

第68号2月10日



■都知事選 沖縄・名護市長選の勝利に続く！／細川候補勝利で暴走する安倍政権にストップを！都知事選に思う(大野和典) ■辺野古新基地建設反対1・29集会 ■労働者座談会「関生型労働運動を全国へ！」

■東京都知事選総括／敗北の中から次の可能性と課題をつかもう ■布施哲也：都知事選挙の意味するもの ■沖繩の空にオスプレイはいらない 2・22集会 ■沖繩意見広告運動／全国キャラバン開始

■消費増税大増税・集団的自衛権見直し・辺野古新基地強行する安倍政権の生活と平和を破壊する戦争政策と闘おう！ 3・9ノーマンデー・原発ゼロ大統一行動／辺野古埋め立て許さない！オスプレイNO！全国キャラバンスタート

第71号5月10日



■第85回ノーマンデー比谷に7000人！辺野古新基地建設NO！市民集会 ■関西憲法集会／関西生コン4月行動／上田清博事件訴訟 ■愛車のアンシエ第二期出発総会 ■二越株主総会で日本人株主がヘイトスピーチ

■脱原発原団全国連絡会 結成呼びかけ記者会見 ■経営が崩壊するトラック業界と産業民主化の必要性 ■沖繩県紙への権力の圧力とオスプレイアジア記者クラブ5月例会／沖繩意見広告運動報告 ■米大手紙Wポストに英文広告掲載

■閣議決定で戦争する国にするな！ 6・17大会に5000人が結集 ■安倍はダメだ新領土モミ 奈良・佐賀など1000人委員会発足 ■戦争に参加したい！政府の動きをばね返せ！鎌田慧さん

第75号9月10日

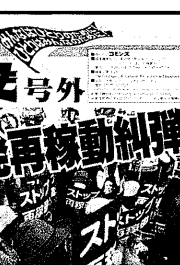


■辺野古に基地はいらない！沖繩・辺野古現地特派員報告 ■不屈の沖繩・竹富町教委に学ぶ／関生、ゼネコンとのたたかい ■アンシエ講座・上原公子「自民党憲法改正草案批判」 ■GSEF2014

■連帯労組関生支部50回大会ー武建一委員長に聞く ■大内秀明「安倍改組内閣とは」 ■上原公子「自民党憲法改正草案批判」／国立京観訴訟に勝利 ■スコットランド住民投票／香港10万人が道路を上廻

■特集：沖繩県知事選挙沖繩と連帯し暴走する安倍政権打倒へ行動を！ 10・28沖繩意見広告運動が連帯集會ー照屋寛徳、花輪伸一、上原公子、オナガ雄志さんの基本的政策

第77号11月10日



■12月総選挙 沖繩県知事選挙勝利に続き、安倍政治にノーを ■アベノミクスへの欺瞞がもたらす未曾有の危機／田淵太一(同志社大学教授) ■戦争をさせない・9条壊すな！ 11・11総がかり国会包囲行動

■誰か湯川さん後藤さんを殺したのか 沖繩の民意を無視するな！ 25国会包囲 ■関生支部活動報告ミキサ車パレード 産別、職種・業種別組織のゼネラルユニオンへ

■沖繩意見広告キャラバン出発集会 ■反ヘイト議員、候補者ネット発足！ ■アベノミクスと農政改革 ■マルクス経済学からみた21世紀の資本危機 ティ検証

号外(2015年7月12日発行)



【2015年】 第79号1月1日

■戦争でなく人が人らしく生きられる共生・協同・連帯の道こそ希望 ■第6期沖繩意見広告関西集會 ■II・2「ソウル宣言」プレフォーラム新たな協働の発見 ■GSEF創立

■日米首脳会談、対米従属極まる！ 国の安倍政権 ■Wポストに沖繩意見広告掲載 ■沖繩「屈辱の日」県民集会 ■前田哲男さん「安倍の軍事化路線はもう闘うか」

第80号2月10日

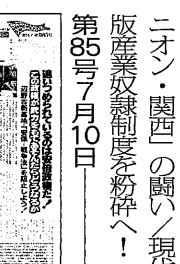


■委員長指示政府が「効力停止」の暴挙！正義と道理は沖繩にある！ 辺野古即時中止を ■テント広場記者会見／安倍倒せ！デモ／伊達判決56周年集会 ■統一地方選挙スタート ■NAFTA 20年のメキシコ

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第82号4月10日

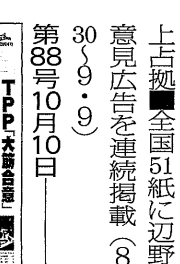


■緊急の特別委員会可決糾弾！ ■参議院特別委員会の件を返せ！ ■緊急の特別委員会可決糾弾！ ■参議院特別委員会の件を返せ！

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第84号6月10日

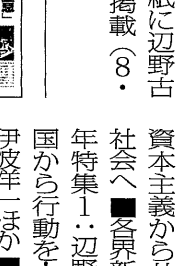


■TPP交渉、大筋合意を受けて！ 批准阻止闘争を焦点に戦争法廃止と結び闘おう！ ■II・5砂川闘争60周年の集いへ ■戦争法(成立)自衛隊は何を備えるのか／武蔵野樹 ■10・2安倍政権NO！大行進万人

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第86号8月10日

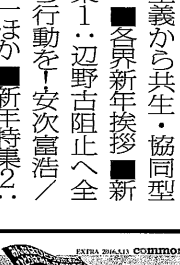


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第87号9月15日



■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第88号10月10日



■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第89号11月10日

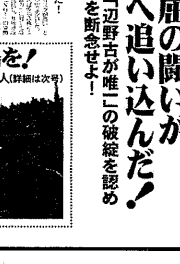


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第90号12月10日

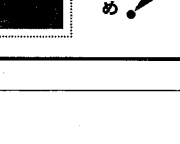


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第91号1月1日

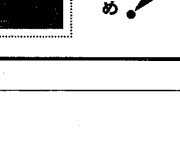


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第92号2月10日

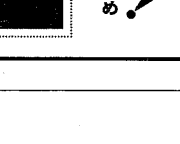


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第93号3月10日

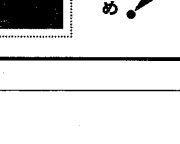


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第94号4月10日

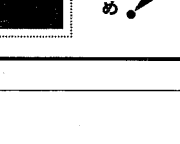


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第95号5月10日

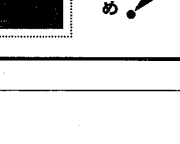


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第96号6月10日

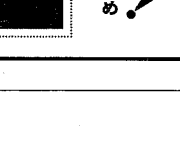


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第97号7月1日

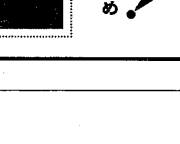


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第98号8月10日

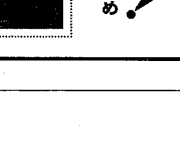


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

第99号9月10日

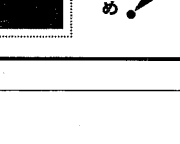


■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動

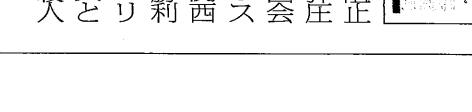
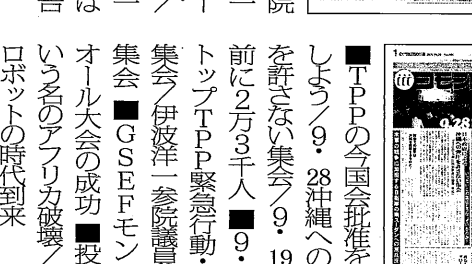
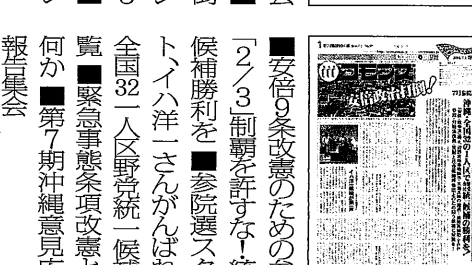
第100号10月10日



■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■追いつめられた安倍政権 辺野古「戦争法案」阻止へ正念場 ■全国各地で安倍内閣への反乱がはじまった ■70年目の敗戦と歴史認識によせて ■安倍政権と沖繩そしてアジア(トガヴァン・マコック)

■生コン関連6労組協議会 政治ストライキで決起！ 憲法違反の戦争法案廃案へ ■止めよう辺野古埋め立て国会包囲に2万2千人が結集 ■戦争法絶対に通すな国会包囲行動



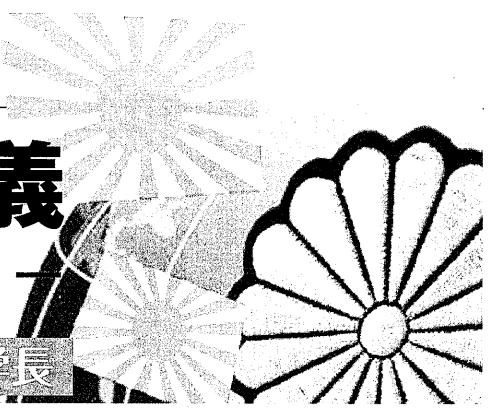
# 現在に生き続ける植民地主義

## — 歴史的断絶を通して再生する同一の原理とその危機 —

【連載4】 齋藤日出治 大阪労働学校・アソシエ 副学長



1933年制作の中国と東アジアの地図。「満州」は色分けされており朝鮮は日本の領土とされている



【注11】越沢明[1988][2004]は「満洲国」をはじめとする中国東部の都市建設が当時の日本「本土」の都市よりも精緻な都市計画を練り上げ、その計画にもとづく都市建設が進められた、と評価している。そこには、植民地都市の建設が帝国日本の内政の統治業務とみなされていることの異常性に対する自覚はまったく見られない。

【注12】治安戦については、笠原十九司[2010]を参照されたい。

【注13】海南島の軍事占領下で行使されたのも、「生かす権力」と「殺す権力」の二重の権力の全面的な発動であった。海南島では、台湾総督府と台北帝国大学を中心とする大規模な学術調査団が組織され、民俗学、人類学、社会学、地質学、気象学、地理学など各分野の研究者を動員して、海南島の自然、地質、地形、土壤、気象、河川、森林、農業、漁業、林業、畜産業、鉱山、生活様式と民族文化などについて綿密な調査活動が行われた。

その一方で、日本軍は「共産部落ハ之ヲ清掃ス」(海南海軍警備司令部が一九四二年一月一日付で出した「Y7作戦二関スル参謀長口述書」という方針の下、島の各地の村を襲撃し、無差別の住民虐殺をくりかえした。海南島における「学術調査研究」については、齋藤日出治[2013]を、住民虐殺については注[2]の各資料を参照されたい。

海南島で日本軍が展開した「Y作戦」という軍事作戦は、そのなかに住民の人的能力開発、土地測量、地籍調査、度量衡制度の整備、埋蔵資源の調査、物価統制と物資の配給管理体制、伝染病の予防対策、教育制度の整備、治安維持会の組織化、住民の治安維持対策、電気通信事業の推進、保安林による災害対策など、社会生活や産業活動の統治に関するあらゆる課題が「政策処理事項」として掲げられている。「殺す権力」の展開である軍事作戦の延長線上に「生かす権力」が位置づけられていることがわかる。この統治政策については、齋藤日出治[2010]を参照されたい。

【注14】河原宏[2012]によれば、敗戦末期の「本土決戦」こそ、帝国軍の統制から解放されて日本人ひとりひとりが自己の決意と判断で行動する機会であったが、そのような機会の出現を「共産主義革命」とみなし、それを恐れた日本の支配層(近衛文麿)が天皇に敗戦の受諾を「上奏」して「本土決戦」は回避された。この河原の解釈は日本の近代を考えるうえできわめて重要な示唆である。

- 今回の参考文献
- 後藤新平「1944」『日本植民政策一斑』日本学術振興会『中村哲解題』
  - 河原宏「2012」『日本人の戦争』講談社学術文庫
  - 越沢明「1988」「2004」『満洲国の首都計画』日本経済評論
  - 越沢明「2004」『哈爾濱の都市計画』筑摩書房

植民地の地図の作成(植民地支配以前から)に測り量技師を送り込んで行う潜入盗測もあつた。土地の測量、人口統計調査、職業調査、生計調査、医療と衛生の調査、工場労働の調査、人骨の分析、体力の測定、都市計画の整備といった内務行政のような統治政策が植民地統治下で積極的に推進された。

大連新京、ハルビン、北京、京城、釜山、台北、高雄など中国、朝鮮、台湾、植民地都市の建設が推進され、都市が「市街化区域」と「市街化調整区域」とに分かれ、周囲には緑地帯を設け、公園緑地と水利施設を設ける都市計画が整備された(注11)。

要するに、フーコーが「内政」として位置づけた生権力の行使が、日本の場合、アジアの植民地地域において発動されたのである。その内政の統治を正当化するために、日本語教育、日本文化の普及、神社の建設など、現地社会の文化破壊行為が強力に推進された。

この生権力の行使と同時に、それを下回る規模で発動されたのが殺す権力である。日本の植民地統治に抵抗し、統治政策の推進にこたえてきた者に対しては、武力で対抗し、殺す権力が行使された。殺す権力の行使は、正規軍との戦闘行為に加えて、非戦闘員の日常生活に対しても発動された。しかも、非戦闘員の生命も含めた日常生活の破壊が、正規軍の戦闘目標として掲げられた。殺す権力が抗日の根拠地であった農村の生活そのものに向けて行使されたのである。日中戦争で展開されたい

わゆる治安戦は、この殺す権力の全面的な発動であった(注12)。

植民地の統治において発動された生かす権力と殺す権力の二重の権力の論理の原型を提示したのもとして、後藤新平「1944」の植民政策論を挙げることができる。

後藤は植民地の為政者もつべき信念をつぎのよう提示する。為政者は統治の対象となる新領土の風俗、習慣、人情などについて事細かに調査し、それを科学的に分析して統治する主体の反省のために役立てなければならぬ。この調査は生命活動を考察する生物学を基本を置き、生物の適生存の原理にもとづいて、日常生活のさまざまな活動(つまりの殖産、興業、衛生、教育、交通などの運営)に活用される。たとえ後藤は、台湾総督府への赴任の際に「台湾統治の大綱」として土地調査をはじめとする多岐の事業を持統的に実施し、衛生上の設備を整備し、警察・司法・殖産・交通の特殊法を定めるよう提唱している。

しかし、その一方で、「土匪の鎮定」を統治の課題としてとりあげ、「土匪は最も迅速に鎮定する必要がある。生計討伐は永久的計画を以てすべし(後藤新平「1944」一頁)と述べ、武力による鎮圧を強調する。後藤は、このような武力による制圧の政策と、科学的知識による調査・研究の政策を兼ね備えた植民政策を「文藝的武備論(後藤新平「1944」二四頁)と呼んだ。

「文藝的武備論」を以て他の侵略に備へ、一旦緩急あれば武装的行動を助けるの便を合せて講(同一三頁)と述べている。後藤の方針に従って、台湾では旧慣調査会が組織され、満洲では、満鉄調査部をはじめとして、旅順、奉天、南満洲医学、中央試験所、東亜経済

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

### 4「戦後」という名の植民地主義

日本の敗戦は、「自己植民地化」とアジアの植民地支配によって方向づけられた日本の近代化がもたらした帰結であった。したがって敗戦は戦前の日本の植民地主義的な社会のありかたを根底から問い直す契機とすべきものであった。しかし、多くの日本人はこの敗戦を

敗戦は、近代日本の社会を根底において支えていた植民地主義の原理を解体し、自己の経験にもとづく社会を創造するはずの出来事であった。だが、この日本の強いられたいは、日本の近代化が西欧近代の規範に自発的に隸する「ローカルな思考の」として推進した近代化がもたらした帰結にほかならぬ。他者のモデル(欧米列強モデル)への自発的隸従は、アジアの他者に向けた植民地主義的な権力(生かす権力と殺す権力)の発動をもたらす。そしてこの植民地の既得権益を堅持する(濠洲は日本の生命線として)ために侵略戦争をつぎと拡大し、ついには「大東亜戦争」によって欧米と対決する世界大戦に突入して敗局を迎えたのである。

敗戦に直面した日本は、そのような自発的隸従によって自己を植民地化した。その結果アジアの隣国を植民地支配していた日本の近代のありかたを根底から問い直し、自己の経験を他者に委ねた歴史の反省の上に立って、自己の経験と判断にもとづいた社会をどのように創造するかが問われていた。つまり、日本近代に張り付いていた植民地主義の呪縛からいかに自己を解放し放つかが問われていたのである。

しかし、その道は敗戦の起点から放棄された。その理由は、日本が「国体の護持を条件に敗戦を受け入れ、天皇の玉音放送によって「終戦を宣言したことにある。河原宏「2012」は、日本人が天皇の命令によって戦争を終えることによって、「各人が自己的決意と判断によって行動する(一四五頁)機会を逸してしまつた」と言(注14)。

植民地主義の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

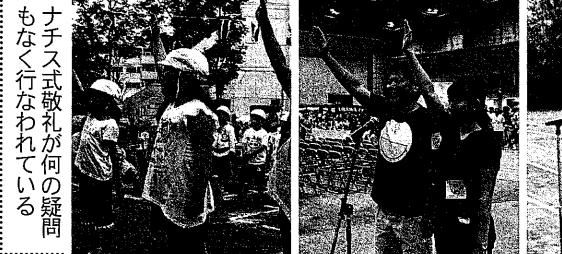
調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。

調査局、地質研究所などがつぎと開設される。一九一四年に執筆された「日本植民政策一斑」は、のちに日本がアジアの各地の植民地で「九三〇年代以降に全面展開する生かす権力と殺す権力の原理を明確に提示している(河原宏[2012]注13)。



ナチスの真似は止めよう

二宮克己(元社会党府中市議)



ナチス式敬礼が何の疑問もなく行なわれている

なを極右団体の活動が活発化している。ヨーロッパでも中東地域からの難民の受け入れを巡って排外主義が増大し、オーストラリア、ドイツ、オランダ、フランスなど多くの国々で極右民族主義政党の台頭が著しい。次期政権を取る可能性も取りざたされている。その彼らのあいだでは、かつて民族排外主義を旗印に政権を奪取し独裁政治と侵略戦争に突進していったナチスがシンボルの存在となっている。日本では、ヒトラーやナチスへの認識はまたたく、その危険性への警戒心も軽いが、まだあらゆるスポーツ大会においてナチス式敬礼による「選手宣誓」が何の自覚もなく行われている。こうした無意識のうちに排外主義者のシンボルを受け容れている状況に対して警鐘を鳴らす投稿を元社会党府中市議の二宮克己さんよりいただいた。

編集局・M (二宮克己)の詳しいプロフィールは本紙92号に掲載

編集局・注

なを極右団体の活動が活発化している。ヨーロッパでも中東地域からの難民の受け入れを巡って排外主義が増大し、オーストラリア、ドイツ、オランダ、フランスなど多くの国々で極右民族主義政党の台頭が著しい。次期政権を取る可能性も取りざたされている。その彼らのあいだでは、かつて民族排外主義を旗印に政権を奪取し独裁政治と侵略戦争に突進していったナチスがシンボルの存在となっている。日本では、ヒトラーやナチスへの認識はまたたく、その危険性への警戒心も軽いが、まだあらゆるスポーツ大会においてナチス式敬礼による「選手宣誓」が何の自覚もなく行われている。こうした無意識のうちに排外主義者のシンボルを受け容れている状況に対して警鐘を鳴らす投稿を元社会党府中市議の二宮克己さんよりいただいた。

二宮克己(元社会党府中市議)

# コモンズ川柳

## 乱鬼龍

安倍悪政もはや悪魔と化す政壇  
列島に憤怒の声は発火点  
こびの道にあふれるノーテンキ  
私なら文春砲より川柳砲  
去年今年貫く末世諸行無常

### 編集室から

●去る11月25日、キューバのフィデル・カストロ議長が亡くなった。1959年、アメリカの傀儡(かいらい)であったバティスタ政権を打倒し、その後のキューバを社会主義に導いてきた素晴らしい指導者だ。キューバ革命政権の誕生によって、のど元ナイフを突きつけられた形となったアメリカは経済封鎖や軍事介入でキューバを苦しめたが、それでもキューバは一歩もひるむことなく持ちこたえ、教育・医療の無料化など貧困者のためにたまたか続けた。カストロ議長の死をキューバ国民は心から悲しみ、万余の人々が弔問の列に並んだ。追悼の記事を来年掲載予定だが、ゲバラとカストロの名は人類が永く記憶に留めて置くべき名だ。日本では相変わらず安倍政権の暴走が止まらない。経済政策の破綻を年金や医療保険などで弱者にしわ寄せし、戦争法を可決するや南スーダンへ派兵、そして今度はカジノ法強行採決だ。国民の年金資金を株式相場に突き込み巨額の損害をこうむったばかりだが、他人の金で大損してもバクチの怖さは学習できないらしい。こんな政権は一刻も早く打倒しなければ本当に日本は「亡国」となる。本紙にこれまで8年間100号分全ての目次と表紙写真を掲載した。3〜6ページで独立しているのでも、永久保存版としてご利用いただきたい。読者のみなさん、今年もお読みいただき感謝します。来年もよろしくお祈りします。(幹)

### コモンズ取扱店

- 群馬 ●三光堂書店  
伊勢崎市大手町2の15  
☎0270(25)2347
- 神奈川 ●中原ブックランド  
川崎市中原区小杉町3の1  
☎044(711)2346
- 東京 ●書泉グランデ  
千代田区神田神保町1-3  
☎03(3295)0011  
●模索舎  
新宿区新宿2の4の9  
中江ビル1階  
☎03(3352)3557
- 愛知 ●豊川堂カルミア店  
豊橋市花田町西宿無番地  
豊橋ステーションビルカルミア  
☎0532(55)2810  
●ウエタ書店  
名古屋千種区内山3の33の8  
新合ビル  
☎52(731)1380
- 岐阜 ●丸圭書店  
美濃加茂市太田町2535の1  
☎0574(25)2281
- 香川 ●讃州堂書店  
高松市松島町2の109  
☎087(834)1533
- 福岡 ●金修堂  
福岡市中央区草香江2の2の7  
☎092(731)2612
- 沖縄 ●ブックスじのん  
宜野湾市真栄原2の3の3  
☎098(897)7241

「コモンズ」取扱店は今後も増やしていく予定です。

新年号は1月10日発行です  
新年第103号は来年1月10日(火)の発行・発送になります。



## トランプに真つ向から対峙する人物が語るアメリカ

大野和興

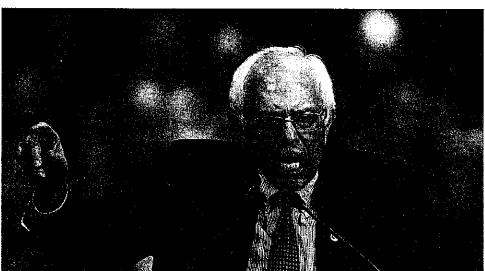
### インタビュー

「サンダースが展望するアメリカの未来」



岩波書店 定価 850円+税 (送料 110円)

米国の次期大統領になったドナルド・トランプをどう規定するかは、一筋縄ではいかなが排外主義のレイシストで、扇動家であるといういい方は間違っている。政治家である前に、人間として最低の部類に属する人物像である。類は類をよぶというところがあるが世界の首脳はなかでいち早くトランプと面会した安倍首相が、面会直後の記者会見で「信頼できる人物と確認できた」と話したのは、自分



自分もレイシストであることとを世界に知らしめたことにあるが、とても面白い。今回の米大統領選はもう一人の人物を生み出した。ヒラリー・クリントンと最後まで民主党大統領候補の座を争ったバーニー・サンダースである。社会主義者を目指す人物が大統領になつていくかもしれないと考えると、トランプ大統領出現と合わせて、現代アメリカを象徴する出来事ではあった。日ごろのニュースに接していて感じるのは、いま米国内でトランプに真つ勝負を挑んでいるのはサンダースにつきまといつてきた。

ではサンダースとは何者か。雑誌「世界」2016年12月号の特集「混迷するアメリカ大統領選の深層」所収のサンダースへのインタビュー「サンダースが展望するアメリカの未来」が面白い。内容は多方面にわたるが、三つに絞って紹介する。一つ目は、サンダースの下

し女性に対する賃金平等等を確立し、最低賃金を時給15ドルに上げるのだ。地域センターへの財政支援を倍にし(中略)気候変動に対し積極的な取り組みを行う。私たちが金持ちの巨大企業に公正な税金を払うよう要求する。誰にもわかる具体的な要求をひきよせ、彼は多勢を眺ね返した。

三つ目はサンダースの思想的バックボーンについて。サンダースが最も尊敬する人物は米国内における社会主義の組織者ユージン・デブスである。ことよく知られている。デブスについては、『世界』の特集の古矢旬北海道大学教授の紹介が役に立つ。1800年代末から1900年代にかけてのヨーロッパからの移入社会主義だった時代に、デブスはアメリカ土着の労働者運動を興し、農民運動と革新主義的な都市政治とも第一次世界大戦の反戦運動とも連携をとった。

以下はこのインタビューにおけるサンダースの締めくくりにある言葉である。「ユージン・デブスに起こったことを調べてください。彼は生涯をかけて社会主義運動を構築するために努力し、それが壊れるのを見ました。それでも10年後にデブスが話していた事柄の半分をフランクリン・ルーズベルトが拾い上げました。世の中はそうやって動いています。諦めるなという警告はありませぬ、いいですか?」

### 「ソウル宣言の会」東京報告会



■日時:1月15日(日)午後1時30分~5時(開場:1時)  
■場所:明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント2階 4021教室  
■共催:ソウル宣言の会/ 明治大学日欧社会的企業比較研究センター

- プログラム
1. 開会及び主催者挨拶  
明治大学日欧社会的企業比較研究センター代表 中川 雄一郎 明治大学政経学部教授
  2. 報告  
①2013年の「ソウル宣言」から2016年の「モンリオール宣言へ」ソウル宣言の会代表 若森 資朗  
②GSEF2016モンリオール国際会議参加報告  
大会参加団团长・明治大学副学長・元日本協同組合学会会長 柳澤 敏勝 氏  
③パネルディスカッション:モンリオール大会の成果とは?  
司会 ソウル宣言の会 牧 梶郎  
パネリスト モンリオール大会参加者  
高井 康裕 さん (中小企業組合総合研究所 理事長)  
松田 舞 さん (アジェンダ21)  
瀬戸 大作 さん (パルシステム生活協同組合連合会地域支援本部担当部長)  
上野 しづ さん (生活クラブ山梨 理事長)  
松村 和則 さん (筑波大学 名誉教授)  
鈴木 岳 さん (生協総合研究所研究員)
  4. 2018年の開催地、ビルバオ市、モンドラゴン市の紹介  
・明治大学 特任教授 マット・ノイズ氏

### 機関紙カンパのお願い

読者の皆さまへ。  
寒さもまぎびしくなつてまいりましたが、皆さまにはご健勝にてお過ごしのことと思います。

安倍政権は強行採決された戦争法にもつきまとい、よいよ紛争国に武装自衛隊を派遣する事態となりました。戦後70年守り抜いてきた私たちの平和憲法が事実上踏みじりられようとしています。国際政治を扼する重要な要素となるアメリカでは排外主義・差別主義のトランプが大

統領となり、日本の危険極まりない排外的戦争同盟が推進されようとしています。グローバル資本主義の破綻が私たちの生活をますます困難にするのみならず、それを要因として極右勢力が台頭し、世界中で戦争やテロの危険が高まっています。

しかし、これを変革しようとする世界の流れも韓国連日の騒ぎに見るよつた大きくなっています。このカンパをすすめて下さる方が、この一端を担うべき

弱体であり、極右勢力の拡大を許してしまっている有り様です。この状況を打開するために、私たちは「コモンズ」をより役立つ新聞として充実させ、また部数拡大と月2回刊へと発展を目指してまいります。

「運載」  
日本資本主義の終わりは始まったのか? (中)  
宇野弘蔵「悪魔の手に」大内秀明

「追悼」砂川から六〇年、共に歩む 塩川喜信を偲ぶ...土屋源太郎  
「アソシエレポート」  
「東北」青雲の志...宮沢賢治と高橋秀松...千葉文夫  
「関西」関西の政治状況  
「なぜ」大阪維新の会は強いのか...変革のアソシエ関西事務所  
「沖縄」高江における国家の暴力と辺野古裁判の不当判決...花輪伸一

# 変革のアソシエ No.26

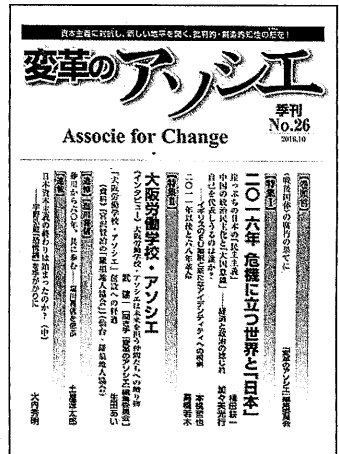
## 季刊 変革のアソシエ

■【発行所】 変革のアソシエ  
〒164-0001 東京都中野区中野2-23-1  
ニューグリーンビル301号  
TEL 03-5342-1395  
FAX 03-6382-6538

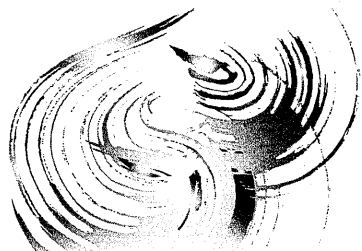
■【発売所】 株式会社 社会評論社  
〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-10  
TEL 03-3814-3861 FAX 03-3818-2808  
http://www.shahyo.com/

2016年11月4日発行  
定価(本体1,000円+税)

■【編集】『変革のアソシエ』編集委員会



BookReview  
改選・直接参加・多数決「ジャン・ジャック・ルソー」社会契約論「ジュネーブ草稿」:友常勉  
混迷する日本会議論「菅野野宮日本会議の研究青木理」日本会議の正体「山崎雅弘日本会議」戦前戦中への情念「塩野谷恭輔」  
「農政」という言葉が死語になった時代の農業政策「石原健」  
「危機に立つ食糧・農業・農協」消えゆく農業政策「大野和興」  
差別のない拓かれた共生共働実践論「堀利和アソシエ」の政治・経済学 人間学としての障害者問題と社会システム「柏井宏之」



内容紹介  
【巻頭言】  
戦後国体の腐朽の果てに「変革のアソシエ」編集委員会  
特集1  
二〇一六年危機に立つ世界と日本  
崖つぶちの日本の「民主主義」横田耕一  
中国の政治民主化と「天國意識」——経済と政治の捻じれ——加々美光行  
自己を代表しうるのは誰か?  
——イギリスのEU離脱と新たなアイデンティティへの模索——本橋哲也  
二〇一一年以後と六八年革命——高橋若木  
特集2  
大阪労働学校・アソシエ  
《インタビュー》  
大阪労働学校・アソシエは未来を担う仲間たちへの贈り物...武建一  
「聞き手」変革のアソシエ編集委員会  
「大阪労働学校・アソシエ」創設までの経過...生田あい  
「資料」宮沢賢治の「羅漢地人協会」(仙台・羅漢地人協会)